

✿□■□■□✿□■□■□■□✿□■□■□■□✿□■□■□■□✿
メールニュース3月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
✿□■□■□✿□■□■□■□✿□■□■□■□✿□■□■□■□✿

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、 plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

-----● バイオリソースの提供手数料の改定のお知らせ ●-----
消費税率の変更に伴い、提供手数料を改定させていただくことになりました。来たる4月1日以降に受注したリソースから適用させていただきたく、よろしく願いいたします。詳細につきましては以下のページをご覧ください。

http://brc.riken.jp/news/notice_20140228_01.html

-----● FOX ライン（シロイヌナズナ遺伝子強制発現系統）の追加について ●-----
シロイヌナズナ FOX ラインのスクリーニング用プールのセットを1個追加して合計17個 としました。

<http://epd.brc.riken.jp/archives/2385>

-----● 学会での事業説明のお知らせ ●-----
平成26年3月18日より20日まで、富山大学にて第55回日本植物生理学会年会が開催されます。理研BRCではポスター発表（PF307、PL201、PL265）で実施する事業の説明を行うとともに、シンポジウムでは植物遺伝子の串刺しデータベース、SABRE2の紹介（S05-2）、更には物質を介した生物間相互作用のシンポジウム（S13）を企画しました。発表内容に関わらず、事業へのご質問やご要望のある方も、ぜひ発表者にお声をかけてください。年会のアドレスは次のとおりです。

<http://www.jspp.org/toyama/>

また平成26年3月29日、30日に筑波大学で開催する園芸学会平成26年度春季大会におきましては、「モデル植物シロイヌナズナ研究材料をアブラナ科野菜の虫害防除にどう活かすか？」というタイトルで口頭発表（野030）を行います。大会にご参加の方はぜひお立ち寄りください。大会のアドレスは次のとおりです。

<http://www.jshs.jp/modules/tinyd4/index.php?id=61>

-----● テクニカルサポート (No. 11) : シロイヌナズナの遺伝子破壊系統 ●-----
シロイヌナズナの遺伝子破壊系統で最も数が多いのはT-DNAタグラインで、米国、ドイツ、日本などで数十万系統が作出されています。中でも米国で作成された系統はT-DNA

が挿入された位置を解析したうえでホモ系統の作出も行っており、広く使用されています。

一方、ゲノムにはしばしば複数個のT-DNAが挿入されることが知られています。加えてT-DNAの挿入位置とリンクしない変異も存在するとされており、そこで、一般的には同一遺伝子の破壊について、独立した複数の系統を使用することが望ましいと考えられています。

理研BRCが提供するトランスポゾンタグラインも、トランスポゾンの挿入位置が解析済みの遺伝子破壊系統です。本系統はゲノムに導入した外来性のトランスポゾン (Ds element) を転移酵素 (Ac element) により転移させて作成しています。基本的にDs elementは1か所に挿入されていることから、挿入位置と表現型がリンクする確率はT-DNAタグラインよりも高いと考えられます。またおよそ3千のホモ化した系統も利用可能です。

http://epd.brc.riken.jp/resource/catalog_plantc/transp

ただし、一度挿入されたトランスポゾンが再転位することにより、ゲノムに数塩基の挿入、または欠失を作る可能性もあることから、挿入位置と表現型のリンクの確認はやはり重要と考えられます。

遺伝子破壊系統の別の使い方として、表現型を指標としたスクリーニングを行うために、複数系統の種子を混合して作成したプールが各国で作られています。理研BRCでは、T-DNAにエンハンサーを組み込み挿入位置近傍の遺伝子の発現量を高める効果も持たせたアクティベーションタグライン約3万7千系統を整備し、プールとして提供しています。

http://epd.brc.riken.jp/resource/catalog_plantc/actic

また、トランスポゾンタグラインのホモ系統のみから構成されるプールも作成しています。ぜひご利用ください。

<http://epd.brc.riken.jp/archives/2128>

リソースの寄託や提供に関わるご相談、ご質問は、お気軽に下記メールアドレスにお送りください。また年度末にご移動やご退官を控えておられる場合には、お手持ちのリソースの滅失防止と有効活用についてぜひご検討をお願いいたします。当室までご一報いただければ、寄託等の手続きのご案内をさしあげますのでどうぞご利用ください。

❀*:・'° ❀°'・*:。 ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://www.brc.riken.jp/lab/epd/>

❀*:・'° ❀°'・*:。 ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀